

9月は世界アルツハイマーデー・月間です

本年4月に、京都市内において日本では2度目となる「第32回国際アルツハイマー病協会国際会議」が開催されました。世界中から多くの方々が来場され知識や意見交換の場として、アルツハイマー病の当事者も声を挙げて社会的参加の意義を問いかけていました。

「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、1984年の設立以来毎年世界各国で国際会議を開催していますが、節目の第10回会議がスコットランドのエジンバラで開催され、初日である9月21日を世界保健機関(WHO)と共同で、「世界アルツハイマーデー」と制定し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的としています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取組が行われています。

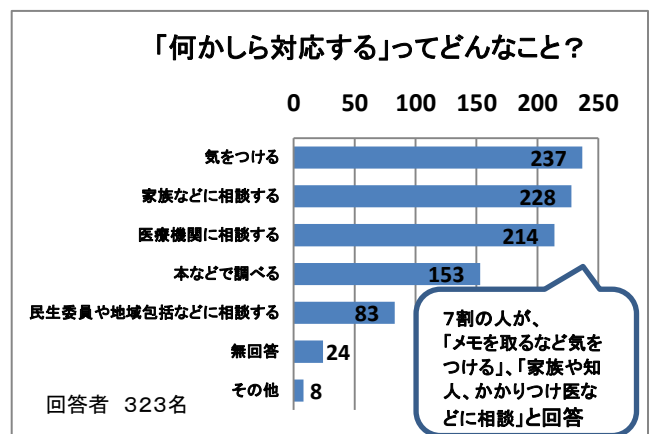
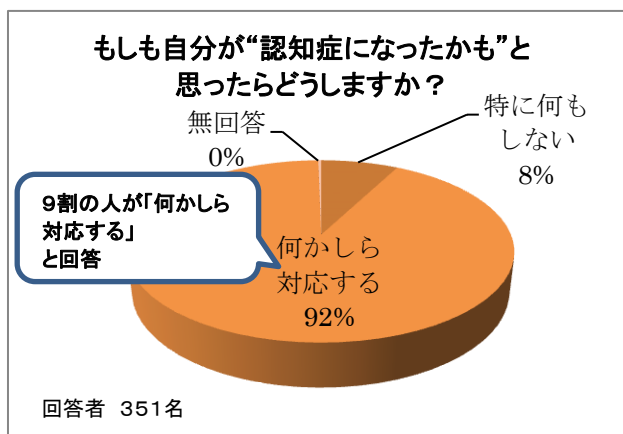
中丹東オレンジロードつなげ隊も、街頭啓発やFMラジオなどにより、たとえ認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向けて啓発活動を行います。

認知症意識アンケートの結果から

「中丹“絆”フェスタ」(舞鶴市)、「食育・すこやかフェスティバル」(綾部市)の参加者を対象に実施

「もしも“自分が認知症になったかもしれない”と思った時、あなたはどのようなことをしますか?」という質問に「何かしら対応する」と答えた方が9割おられました。その具体的な内容を質問したところ、「気をつける(メモを取る、置き場所を同じにする、人と話す等)」、次いで「家族や知人に相談する」「かかりつけ医やもの忘れ外来など医療機関に相談する」の順に多く回答されていました。“認知症が進行しないように自分でできることはしたい”という思いが伝わる結果でした。

オレンジロードつなげ隊も、その思いに沿いながら、これからも情報提供や啓発をしていきたいと思ひます。



オレンジロードつなげ隊 隊員紹介 3



舞鶴市
山本 妙子

私は、介護現場での勤務経験がなく、退職までの30年間教育の仕事に携わってきました。退職後は残りの時間を輝かしいものにするために、介護支援専門員の資格を取得し、今まで培ってきた力を活かしたいと思っています。寸劇、ペープサート、イベント等の活動を通じて皆様から学ぶことが多くあり、私なりの持ち味で多くの方に認知症に対する理解を深めて頂けるよう、オレンジロードつなげ隊の皆様と共に活動していきたいと思っています。



舞鶴市
仲野 東

私ども「マリンバンク京都府信漁連」は、漁業・地域社会に貢献する職能的金融機関として京都府内の漁村地区を中心に事業展開を行っております。

日頃より、社会貢献に積極的に取り組み「京都高齢者安心サポート企業」として登録する傍ら、高齢化の進む地域社会において、より多くの方々に認知症を正しく理解いただく事は、地域に根ざす金融機関として、重要な社会貢献ではないかと考え、活動に参加させていただくことになりました。

私達の立場で啓発活動のお役に立てればと思っておりますので、いつでも気軽に各店窓口にお声掛けください。



舞鶴市
宮本 令子

本年3月まで保健所で認知症施策を担当し、オレンジロードつなげ隊の結成から一緒に啓発活動に取り組んできました。

隊員の皆様には、チラシ・DVD・広報紙の作成、寸劇、ペープサート、認知症カフェ、アンケート、オリジナルソングなど、色々と工夫して積極的に取り組んでいただき本当に感謝しています。

これからはオレンジロードつなげ隊の一員として「認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくり」を目指して、一人でも多くの方に認知症の正しい理解をして頂けるよう活動していきたいと思っています。



綾部市
白子 操

私は、グループホームの介護員として働いています。認知症のある方々と日々接する中で、私自身の「人間力」が試されているように、教えていただくことが沢山あります。

私の言葉が相手の方に伝わりにくい時、どうしたら伝える事ができるのかと思いを巡らせています。そうした中、心と心のキャッチボールができ、認知症の方の笑顔が見られた時は何とも言えない幸せな気持ちになります。

このオレンジロードつなげ隊の活動をする事で「認知症」という言葉の理解が深まって、認知症の方々がいつも笑顔で過ごせるような社会になればと思っています。

オレンジロードつなげ隊とは

オレンジロードつなげ隊とは、認知症の人と共に、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会を目指し、認知症の正しい理解と支援を推進するために結成された、京都府の啓発組織です。中丹東オレンジロードつなげ隊は28名（舞鶴市14名、綾部市14名）で活動しています。

— 編集後記 —

オレンジロードつなげ隊の活動も3年目を迎え、つなげ隊つうしんは第4号の発行となりました。オレンジロードつなげ隊の隊員や活動内容を紹介しています。

イベントに参加したり啓発活動を行う中で、少しでも認知症の理解が深まればと思います。

この、つなげ隊つうしんを通して、少しでも私達の活動や思いを知って頂けたらと思います。

《編集担当班》

発行：中丹東オレンジロードつなげ隊

【事務局】

京都府中丹東保健所

企画調整室

中丹東地域包括ケア推進ネット
中丹東オレンジロードつなげ隊

心でつなぐ、地域でつなぐ
“認知症”

認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現をめざしています